

神の漁場

鳥羽市海女文化写真展



三重／鳥羽写真ポスター展

2016年2月7日[日] ▶ 21日[日]

会場一鳥羽市内各所(離島を含め、駅・漁港・飲食店など)

東京／飯田橋写真展&トークイベント

2016年2月27日[土] ▶ 28日[日] 10時 ▶ 18時

会場一rengōDMS／連合設計社市谷建築事務所
● 27日[土] 17時 ▶ 19時 海女・御食国文化トークイベント



展示一鷺尾和彦・齋藤彰英

監修一平出隆・港千尋

主催一鳥羽商工会議所
協力一rengōDMS／連合設計社市谷建築事務所「TAA」

展示一鷺尾和彦・齋藤彰英
監修一平出隆・港千尋
主催一鳥羽商工会議所
協力一rengōDMS／連合設計社市谷建築事務所「TAA」



—御食国「みけつぐに」とは、日本古代から平安時代まで、皇室・朝廷に海産物を中心とした御食料「穀物以外の副食物」を貢いだと推定される國[地域]を指す言葉です。『万葉集』などの記述から、志摩国・若狭国・淡路国が推定されています。

鳥羽市海女文化写真展 神の漁場

鳥羽商工会議所は、2001年青都とばミュージアム（鳥羽エコミュージアム）事業を策定し、地域住民が主体となる観光まちづくり事業を進め、地域資源の魅力を向上させるための様々な取り組みをおこなっています。

特に、海女人口が日本一の「鳥羽市相差（おうさつ）町」を中心に、海女文化の保全と継承、地域づくりに活かすため、県・市・地域を挙げて、海女文化のユネスコ（世界）無形文化遺産登録を目指しています。

その活動の一環として、より多くの方々に周知するために、多摩美術大学 芸術人類学研究所[IAA]の平出隆氏と港千尋氏に「海女・御食国（みけつくに）」を題材とした写真展の監修を依頼いたしました。両氏の監修のもと、写真家の鷺尾和彦氏と斎藤彰英氏が離島や周辺地域を含めた海女文化の撮影をおこないました。

大いなる自然と密接に関わり、豊かな文化を生み出した土地の姿をご覧ください。

【三重／鳥羽 写真ポスター展について】

2016年2月7日[日]—21日[日]

鳥羽市沿岸の漁村と三つの離島（菅島・答志島・神島）で撮影をおこないました。

鳥羽展示では、それらの写真を108種類のポスターにし、市内各所に展示します。

展示場所は、駅・マリンターミナルなどの公共施設に加え、

漁港・食料品店・居酒屋・民宿など漁村生活に密接な関わりを持つ場所に展示します。

【東京／飯田橋 トークイベントについて】

2016年2月27日[土]17:00—19:00／参加費：1,000円（要予約）／定員：50名

会場：rengoDMS/連合設計社市谷建築事務所

東京展示では、相差町の海女と、写真家の港千尋氏・鷺尾和彦氏・斎藤彰英氏によるトークイベントを開催します。

I部では、相差町海女が作る郷土料理の実演と試食。

II部では、「神の漁場：海女・御食国文化」と題し、監修の港氏を交え、鳥羽をはじめとする海に生きる人々について考察します。

お問い合わせ：鳥羽商工会議所 <http://toba.or.jp> (TEL) 0599-25-2751

お申し込み：上記ウェブページよりお申し込みください。

鷺尾和彦（展示／トークイベント）



斎藤彰英（展示／トークイベント）



港 千尋（トークイベント）

1983年、静岡県生まれ。2007年多摩美術大学卒。2009年、東京藝術大学大学院修了。横浜美術大学（2009-2013）、多摩美術大学（2013-）に所属。土地を持つ記憶を対象にリサーチをおこなう。2012年からは糸魚川静岡構造線に沿ったフィールドワークを開始し、水が引き起こす現象や、それに呼応して現れる文化や景色を撮影。作品はギャラリー展示のみでなく、写真を様々な形で扱い屋外インスタレーションなどの発表もおこなう。

<http://saitoakihide.com>

兵庫県生まれ。1997年に独学で写真を始める。2009年、写真集『極東ホテル』（赤々舎）を出版。2011年、作家・詩人の池澤夏樹氏とともに東日本大震災発生直後から被災地をフィールドワークし、書籍『春を恨んだりはしない』と写真集『遠い水平線 On The Horizon』を刊行。2014年には日本全国の海岸線の風景を約15年間にわたり撮影したシリーズ『To The Sea』（赤々舎）を刊行する。世界的な視点から「日本」を捉えた作品を一貫して制作している。<http://washiokazuhiko.com>

主催 | 鳥羽商工会議所

共催 | 多摩美術大学 芸術人類学研究所[IAA]



Institute for Art Anthropology,
Tama Art University

協力 | rengoDMS／連合設計社市谷建築事務所

| Art Bridge Institute

